

## 報告事項

- (1) 第4次ちば中小企業元気戦略における事業進捗状況について
- (2) 第5次ちば中小企業元気戦略における事業計画書について

## 議題

- ・第5次ちば中小企業元気戦略における情報発信について

議題：第5次ちば中小企業元気戦略における情報発信について

- ・千葉は都市型と地方型が非常に明確で、一番の課題は地方型のエリアをどう活性化するか。地方型のエリアには、魅力にあふれた素晴らしい食材や自然があり、もっとそれを発信する方法があってもよい。
- ・ストーリーを作って、YouTube 等で企業の情報発信を行うことが重要。また、ストーリー作りにあたっては、行政のサポートが必要ではないか。
- ・セグメント化が必要。情報発信のテーマに合った媒体や広報の仕方を選択するのが良いのではないか。
- ・カテゴリを分けることが必要。探しているテーマだけが掲載されたページであれば、探してみようという気になるが、カテゴリ化されておらず、探したいものが見つからないとわかった時に、二度とそこには訪れなくなる。
- ・カテゴリ分けも重要ではあるが、探そうと思った時に情報が分散してしまうこともある。大きなポータルサイトの一つを作って、そこにアクセスすればどの情報にもアクセスできるという安心感があると良いのではないか。
- ・今の時代だと必ず皆さんコンピューター、スマホで探すため、検索で県の施策が見つかるか、そちらに観点を置いて考えた方がよい。どのようなキーワードで県のHPに來ているかはわかるので、そういうのを分析するのがよい。
- ・情報は毎日のように更新して、ここには新しい情報が入っているというデータベースを構築すれば多くの人にみられるのではないかと思う。
- ・「情報発信を強化する方法」は全て必要だが、ターゲットを絞る必要があるのではと感じている。SNSに強く、そこから情報を入手する人、人から聞くことで情報を入手する人など、その人に合った情報発信ができるとよい。
- ・小中学生に中小企業の魅力を伝えるような、長期的な視野に立った発信事業も必要だし、地域の方との勉強会のように、身近な人たちと様々なディスカッションを通して情報を入手していくのも必要だと思っている。
- ・デジタルと同時に、今までみたいな旧態依然のやり方も必要で、補助金等の施策により、このような成果、事例があったというのを、紙1枚で出してもらうのが一番わかりやすいのかなと思っている。
- ・PRをするのに重要と思っていることが日々3つある。まず一つ目が、「5秒でもわかるキャッチーな言葉」というのがある。長い文章をだらだら言っても記憶に残らない。

短いから覚えてもらえる。2番目は「シンプルということ」。

HPで大事なものは、“リモコンのような操作性”。シンプルであることは、より多くの方に触れてもらうことにつながると思う。3つ目は「とがっているということ」。今の時代、世の中は情報であふれかえっており、その中でみてもらうためには、多少とがったことをしていかないといけない。

- ・メディアたくさんある中、誰に何を、どのように伝えていくかがすごく大事。高齢者には、地域新聞や県民だより、ラジオが有効なメディアでないかと思う。
- ・県については、知事の力はすごく大きい。知事がTwitter やFacebookなどで情報発信を行い、若い世代に周知していくというのもよいと思う。
- ・我々も物を買うときに、ネットと現実のお店を両方使うように、媒体が複数ある中で、複数のメディアを総動員して情報を伝えていくことが重要。
- ・ツイッターやライン等を通して情報発信することも重要だが、いわゆるオールドメディアの部分も絶やさずにやっていく必要がある。

【委員】

1	中山 健	共立女子大学	学識経験者
2	小谷 健一郎(欠席)	千葉商科大学	学識経験者
3	浅野 美希	食育ネット株式会社	中小企業者
4	小倉 秀一	株式会社いまでや	中小企業者
5	熊谷 正喜(欠席)	ハイテック精工株式会社	中小企業者
6	菰岡 翼	有限会社松山商事	中小企業者
7	董 麗萍	株式会社ロボット応用ジャパン	中小企業者
8	細矢 孝(新任)	株式会社CMS	中小企業者
9	三浦 慎	株式会社三英	中小企業者
10	浅井 鉄夫	特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊	支援機関
11	近藤 利砂	千葉県中小企業診断士協会	支援機関
12	安田 勝行(新任)	千葉県信用保証協会	支援機関